

美里のいしばし

熊本地震・豪雨で被災した

二俣福良渡

復旧間近



美里町石橋愛好会

第2回総会開催

平成29年5月27日、「美里町文化交流センターひびき」にて総会を開催しました。総会は、篠原副会長の司会のもと議長に高田昭次氏が選出され、一村会長のあいさつ、茂見副会長から、昨年発生した熊本地震や豪雨後の石橋被害調査報告や活動報告がされ、意見交換がおこなわれ、引き続き現体制で進められることになりました。

事務局に伯川豊和氏が役員会より推薦された承されました。宜しくお願いたします。

今年度は、石橋清掃、石橋写真展示会、石橋写真コンクール、地域の絆プロジェクト「石橋標柱・案内板製作・設置」、石橋講演会など開催していきます。

事務局新任挨拶 伯川豊和

本年7月より事務局を拝命いたしました伯川豊和です。北九州より転居してきたばかりで要領を得ませんが、会の運営に支障がないように、また少しでもこの石橋愛好会が活性化していくよう微力ながら努力していく所存です。

又、この会を通じて多くの方と知り合いになりながら、地域に少しでも貢献できる豊かなセカンドライフとなることを期待しています。皆様のご協力並びにご支援のほどよろしくお願いたします。



紙面紹介

- ◎2頁 二俣福良渡復旧工事について
- ◎3頁 美里町地域の絆プロジェクト
石橋写真展示会開催日程
- ◎4頁 清掃作業
草刈り清掃日程
今年度の活動計画
会長の訴え

二俣福良渡橋の復旧状況

二俣橋とは (二俣渡と二俣福良渡)

二俣渡と二俣福良渡は江戸時代、文政12〜13年(1829〜1830)に、惣庄屋・小山喜十郎によって架橋され、美里町有形文化財指定になっています。

釈迦院川と津留川の合流地点に、直角に交わっていて、規模、形、石積み方もよく似ていて、兄弟橋とも双子橋とも言われ、その美しさで知られています。

二俣渡の方は、石橋とその影により、太陽の光がハート型に浮き出て見えることから、恋人の聖地として人気が出てきています。

こうした新たな石橋の価値創出が石橋を守る大きな要因にもなっています。

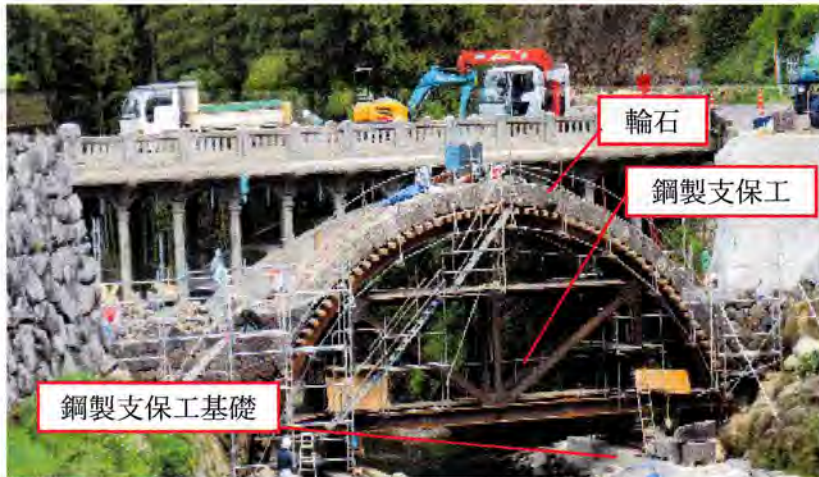
二俣福良渡の被災状況

二俣福良渡の方が、今回熊本大地震(震度6弱)で被災し、豪雨で災害が広がりました。右岸や高欄が崩壊し、壁石と路面の石材が流出、輪石がむき出しの状態です。辛うじて残りました。



工事進捗状況

工事は、まず仮設工の鋼製支保工基礎、鋼製支保工が造られ、既設壁石・輪石撤去されました。そして復旧工事が始まり、輪石組立、輪石沈下防止用壁石復旧が行われ、鋼製支保工撤去され、足場が設置され、壁石敷設等が進められています。



復旧工事に 力を尽くす会員

この復旧工事には美里町石橋愛好会副会長で、石工でも有られる茂見英樹さんが携わられました。で、ご感想ご意見等伺いました。

困難な石材調達

石橋にあう石材生産は、ほとんどなく入手が困難な上、高価となっています。

苦労伴う石材整形

石材整形に当たっては、周囲の石形状にうまく合わせるため、何百回も叩き、合わせていきます。

周囲の石材との擦面を大きく取る事で、強度を強めていきます。

そのために、一つの石材整形に、一日かかることもあります。



打込接工法

(うちこみはぎこうほう)
土は流出するため、大きな石材の間に小さな石を隙間なく詰め込み、橋構造を強度化してあります。



このような石材が使用されているのは、容易に造れ、早く架設も出来、農民負担軽減になるためと考えられます。



石橋復旧作業に携わり

先人たちの偉業を思う

茂見英樹

7月から8月にかけて、20日程、二俣橋復旧作業に携わりました。

その中で、改めて感じた事は、江戸時代後期に活躍した種山石工と呼ばれる石工集団の石橋を造る技術、工夫の素晴らしさ。なぜ、昨年のあのような地震でもほとんどの石橋は倒壊しなかったか。もし今回この作業に従事しなければ、とうてい想像すら及ばなかったかも知れません。

「当時の農民や人々の手助けになれば」という種山石工の熱い思いが、伝わってくるような気がします。

作業自体が、げんのう、ノミ、石頭ハンマー、コヤスケ、ピシヤンというような様々な道具を使い、それはそれは、根気を要する大変な作業でした。

私自身、とても勉強になったと思うし、今後も他町村の石橋の補修や復旧作業にも是非参加して行きたいと思えます。

美里町地域の絆 プロジェクト

石橋愛好会として、29年度地域の絆プロジェクト推進事業（活動団体支援）補助金交付を美里町に申請し、認可されました。

団体名 美里町石橋愛好会

設立時期 平成28年4月

代表者 一村一博

活動目的

国の重要文化財「霊台橋」はじめ町内の文化・土木遺産である石橋群の価値を再確認すると共に地域おこしに最大限活用する。

活動内容

石橋の管理・保全、石橋を活用した教育・文化活動、その目的を達成するために必要と思われる活動。

テーマ 美しい景観・農地の保全、創造
アピールポイント

全国に約1,800基存在する石橋（アーチ造り）の中でも美里町石橋群は、歴史的にも価値の高い石橋ばかりです。これらの宝を将来町として活かして頂く為に、多くの町民の皆様に参加して頂き、活動していく。

具体的活動

清掃、会報発行、石橋写真コンクール
石橋写真展示会、石橋標柱、案内板等製作設置、石橋講演会等

地域の絆プロジェクト推進事業 （活動団体支援）とは

中山間地域の多面性を発揮するため、「美しい景観・農地の保全、創造」、「地域コミュニティの維持、創造」、「地域資源を活用した内発的産業の創造」といった観点から、幅広い取組を進め、持続可能な地域社会を目指すものとし、地域における多彩な活動の立ち上げを町が支援するもの。

石橋標識の改善



国や県、町に文化財指定されていない石橋には、石橋標柱が無かったり、朽ち果てたりしているものもあり、地域の中で石橋が忘れ去られようとしています。

石橋愛好会では、こうした標柱の改善をおこなうため、地域の絆プロジェクトの補助金を活用しながら、美里町石橋群の標柱調査を行い、石橋標柱を作成して行きます。

石橋標柱を建てることで、石橋の存在が明らかになり、地元の観光や石橋保存活動へ繋がればと思います。

石橋の周知活動、美里町活性化、地域に残る活動へのご協力、ご参加よろしくお願いたします。



美里町「石橋写真」展示会催決定

昨年発生した熊本地震・大豪雨後に、石橋愛好会が撮影した美里町石橋写真展示会を開催したい旨を町に要請致した結果、「石橋写真展示会」を、左記の期間開催できる運びとなりました。

町民の皆さん方に、石橋のある美里町の素晴らしい景観を見てもらうこと。

石橋魅力の発信、置かれている問題、維持・管理のあり方、「町おこし」活用について等、考えていけたらいいと思います。

会員の皆さん方におかれましても、展示会場へ、お誘い合わせの上ご来場くださるようお願いいたします。

（担当 高田昭次）

展示期間	展示場所
29年9月1日（金） ～9月27日（水）	美里町砥用庁舎 0964-47-1111
29年10月5日（木） ～10月29日（日）	美里町中央庁舎 0964-46-1111
30年1月6日（土） ～1月31日（水）	美里町中央公民館 0964-46-2038
30年2月6日（火） ～2月28日（水）	美里町文化交流センターひびき 0964-48-8333

石橋愛好会員による草刈り 石橋保存に一役

美里町石橋愛好会では国・県・町の文化財に指定されず、荒れたままになっている石橋群の草刈り作業を会員の皆さんとともに行いました。

石橋の美的景観を保護し、また文化財保護のため、草刈り作業は欠かせないものとなっております。

猛暑の中、雑草が生い茂った石橋周辺を刈り払い機やカマを使っての草刈りや清掃を行い、古き良き石橋がよみがえりました。

石橋の現状を見ることができ、機会でもありませんので、是非とも、皆様のご参加を期待しています。



被害調査



西の鶴橋 川の清掃、土砂撤去

草刈り清掃作業予定日

- 9月17日(日) 13時～16時
- 10月15日(日) 9時～12時
- 11月12日(日) 9時～12時

集合場所

文化交流センターひびき

作業できるかつこうで

軍手、帽子、長そで、長ズボン、

長靴、タオル、飲み物等

カマなどはこちらで準備します。

連絡先

- 一村携帯 090-4990-1339
- 篠原携帯 090-2586-0195
- 茂見携帯 090-3079-1601
- 伯川携帯 090-1365-5950

今年度の活動予定

- 石橋写真展示会(別記)
- 石橋草刈り清掃(上記)
- 石橋標柱作製

来年1月より作製開始

○「石橋講座」開催

「霊台橋その他石橋架橋の背景」

詳細は後日お知らせします。

○石橋写真コンクール開催

詳細は後日お知らせします

○要請その他

石橋書籍の寄贈お願いいたします。

「石橋愛好会」会員募集中。

一村会長からの御願い

昨年の大地震、豪雨による被災から1年が過ぎました。心配だった梅雨時にも石橋群には被害は見られず一安心です。大きな被害を受けた二俣橋の復旧は順調に進んでいる様子ですが、他の被害を受けた石橋は殆どがそのままの状態です。

課題が多い中、愛好会は会報でご案内の通り活動を活発化してまいります。町からの支援も決定し、心強く思っています。会員の皆様におかれましては、諸活動に積極的にご参加いただけることを期待しています。